

田富小だより

令和4年度
第5号
8月29日
田富小学校



さあ、2学期だ！



昨年度の8月号の学校だよりの書き出しにこんな文章がありました。
『山梨県の8月の新規感染者は1000人を超えるような、これまでに例を見ないほどの急増状況です。』このあと、デルタ株ウイルスについての話や、感染力が2倍になっていて感染が拡大している話など…昨年の夏の終わりの様子が綴られていました。これに比べ、今年は、1日の感染者が1500人を超す状況です。行動制限のなかった今年の夏は、特に感染する人が多く、お盆を過ぎて1週間~10日が経過した今が、感染のピークなのかもしれません。

報道でも様々な情報が飛び交っていますが、「学校が始まって、また感染が拡大する可能性がある」という人もいます。しかしながら、学校は休校にはなりませんし、通常通りの日課で学習が始まりました。学校での基本的な感染拡大防止対策はこれまでとさほど変わりありません。ただ、きちんとこれを実践していくことが大切です。

- ① 学習環境にウイルスがないようにすること（・毎日の検温による健康状態のチェックや入念な健康観察（風邪症状のある児童、職員については、登校・出勤を控えていただく）、・登校時の手洗い など）
- ② 学習環境にウイルスがあっても感染しないようにすること（マスクの着用、手洗い・手指消毒、社会的な距離の確保など3密の回避、感染リスクの高い教育活動についての慎重な対応、教室をはじめ十分な換気によるエアロゾル感染の回避）

2階渡り廊下には、諏訪中央病院の玉井道裕医師のイラスト解説による「新型コロナウイルスを乗り越えるための解説書 オミクロン株編」を抜粋したものを掲示し、子ども達に「知ってもらおう」「予防しようという気持ちをもってもらおう」と願っています。玉井医師も「これまで通りの基本的な感染防止をしっかりとすること」と述べています。

2学期は、運動会、修学旅行、陸上記録会、各学年の校外学習など行事も多く、実りのある教育活動が実践されていく学期です。子ども達のより一層の成長が期待できる時です。本校としても、コロナによる影響を最低限にとどめ、充実した教育活動を展開していきたいと考えています。是非、保護者の皆さん、地域の皆さんのご理解・ご協力を頂きながら、健康的な学習が展開できればと考えておりますので、2学期もどうぞよろしくお願いいたします。兎に角、一日も早く、感染が減少していくことを願うばかりです。



子ども達の決意

2学期の始業式は、新型コロナ感染症感染拡大防止のため、屋外で実施しました（屋外とはいえ、しっかりと社会的距離をとり、無言で式に臨みました）。まだ夏ですが、午前中の早い時はそんなに気温も高くなく、心地よい風の中で学習活動もしっかりと行うことができます。夏休みを楽しんだ

顔がたくさん並ぶ中で、代表児童と児童会本部代表による「夏休みを振り返って・2学期に頑張りたいこと」の発表がありました。

(代表者①) 静岡に旅行にいった動物を見たり、海に行ったりしました。シマウマがけがをしていたので、早く元気になってほしいと思いました。2学期の目標は、2つあります。昨年運動会で勝てなかったので、今年は勝てるようにいっぱい練習したいです。また、サッカーをしているので、もっと上手になりたいです。

(代表者②) キャンプに行ってカレー作りをしました。夜は曇っていて星を見ることができなかったけど、日の出を初めて見て、とてもきれいだと思いました。また、水泳の大会があり、50m自由形にできました。息継ぎに気をつけて泳いだら、自己ベストがでてよかったです。2学期の目標は2つあります。漢字があまり得意でないので、しっかり覚えたいと思います。また、テストの点が納得できるものでないので、自学に進んで取り組んで頑張りたいです。

(代表者③) 夏休みは静岡に行きました。暑い日でしたが、とても楽しかったです。また、家の手伝いに積極的に取り組みました。それまでは、親に言われて手伝いをしていましたが、自分から進んで洗濯物を干したり、取り込んだりしました。自分で考えて行動することの大切さを考えました。2学期は、社会の授業に集中して取り組みたいです。歴史学習もはじめのうちは「歴史のできごとなどをおぼえよう」としていましたが、後半、歴史に興味をもってより分かるようになったので、これからも興味をもって取り組みたいです。そして、てきぱき行動できるクラスにしていきたいです。1学期は無駄な時間もできてしまうこともあったので、てきぱき行動し、1日1日を大切に過ごし卒業に向けて頑張っていきたいです。

(児童会代表) 1学期には「ありがとうカード」への取組がありました。低学年が多く提出してくれましたが、中・高学年が少なかったので、2学期は頑張って取り組んでください。また、掃除のときの、無駄口などで静かにできていない学年がありました。高学年の皆さんは、低学年の見本になるようにしっかり取り組み、低学年の人は高学年を見習って掃除をしてください。また、これからもあいさつ運動にも前向きに取り組んでほしいと思います。月の生活目標への取組もあります。1学期にそれぞれのクラスで取り組んでいるところをみて参考になったと思うので、2学期もしっかりと取り組めるように頑張ってください。

どの児童も、夏の思い出を胸に、2学期にかける意気込みがひしひしと伝わってきました。この子ども達の頑張りたい気持ちを大切にしながら、教育活動に取り組んでいきたいと改めて思った次第です。

漂着物のトランクミュージアム

4年生が社会科学習の一環として借りてきた「漂着物のトランクミュージアム 山梨編」が

今、2階渡り廊下に展示されています。これは、河川に捨てられたごみがやがて海へと流れついたものを集めて展示しているものです。殆どがプラスチック製のものですが、台所用洗剤の容器やペットボトルなど様々な種類の物が海に流れ着いていることがわかります。海に流れ着いたごみは、例えば、ひも状のものは、アシカの首に巻き付いて取れなくなったり(これは写真で展示されているのですが、とても可哀そうです)、有害な化合物をもつプラスチック片を小さな生き物が食べたり…と、かなりひどい環境破壊になっていることが実物のごみとともに子ども達の目に飛び込んでくるようです。あまり見たことがない展示ですから、子ども達も通り過ぎ際に、食い入るように見えています。やはり「実物が持つ力」は偉大です。4年生は水の学習やごみの学習を進めていますが、「2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。」とSDGsの目標14のターゲットにもあります。子ども達の次の世代にも美しい海が存在するよう私たち教師も含め、全校児童が学ぶ必要があると思いました。

